

教科名(科目名)	芸術(音楽Ⅰ)	履修単位	2	履修形態	(選択) 必修
使用教科書(出版社)	MOUSA1(教育芸術社)		学科・学年(コース)		普通科・1学年
副教材等	なし			履修条件	特になし

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①広い知識と科学的思考に裏付けられ、事に臨んで適切な判断ができる人間に育てる。 ②強靱な体力と不屈の忍耐力を持ち、信念を持って行動するたくましい人間に育てる。 ③相手の立場に立って物事を考え、人の心を汲み取って思いやる温かい人間に育てる。
カリキュラム・ポリシー	①1・2学年では全員が共通の科目を学び、広く基礎的な知識・技能を身につけます。 ②3学年では選択科目を多く設置し、個々の興味・関心を進路目標に合わせ科目を選択し学びます。 ③授業第一主義とし、主体的・対話的で深い学びの授業、ICTを積極的に活用しわかりやすい授業を実践します。 ④長岡市との「探究学習の推進に関する連携協定」のもと、地域の大学、企業、行政と連携し、地域資源を活用した生徒主体の探究活動を実践します。 ⑤学校行事や部活動では、安全安心な環境を整備し、生徒の主体的な活動を支援します。

2 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。
(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2) 自己のイメージをもって音楽表現を工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 指導の重点

高校生活の3年間で、音楽の学習ができるのは1年間のみであることから
① 演奏表現では、様々なジャンルに挑戦し、生涯にわたって音楽を楽しめるような技能の習得を目指します。
② 鑑賞では、音楽の構造や文化的・歴史的背景についても学び、音楽的な見方・考え方を身に付けることを目指します。
③ グループ単位で練習や発表、意見交換などに取り組む場面も比較的多くあります。積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
○創意工夫を生かした音楽表現をするために、必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。		

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ○実技テストや発表の分析 ○副教材や学習プリントなどの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ○実技テストや発表の分析 ○授業中の取り組みに対する観察や聴取 ○副教材や学習プリントなどの内容の確認や分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ○授業中の取り組みに対する観察や聴取 ○副教材や学習プリントなどの内容の確認や分析 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A:十分満足できる」、「B:おおむね満足できる」、「C:努力を要する」 で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	題材名	授業時数	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	曲にふさわしい発声で歌おう	2	校歌/「ヴォイス・トレーニング」/「《Ave Maria》を歌う際に」/Ave Maria	○姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声法などを学び、留意しながら歌う。	a,b,c	取組観察・聴取
	楽譜を読む力、書く力を身に付けよう	2	楽典、ソルフェージュ	○楽譜の正しい読み方や書き方を身に付け、表現に生かせるようにする。	a,b,c	取組観察・聴取 学習プリント(記述)
	音楽の諸要素とその働きを理解しよう	2	「音楽を織りなすさまざまな要素」/組曲《動物の謝肉祭	○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知る。	a,b,c	学習プリント(記述)

			祭》	○楽曲を鑑賞し、グループで意見交換し、まとめて発表する。		意見交換や発表の様子(行動観察)
5・6	日本語の様々な歌の特徴を理解して歌おう	5	群青/「歌謡曲からJ-popへの100年」/夏の思い出「日本語と旋律」/詩の心を大切に歌おう「日本語の歌詞の歌い方」他	○曲種に応じ、様々な発声の方法について学ぶ。 ○曲種に応じ、それぞれにふさわしい表現になるよう工夫する。	a,b,c	取組観察・聴取 学習プリント 実技テスト
	ギターを楽しもう	5	「ギター」/日曜日よりの使者/第三の男のテーマ他	○ギターの正しい奏法を身に付け、曲を演奏する。 ○歌唱しながら演奏し、互いに聴きあい鑑賞する。	a,b,c	取組観察・聴取 学習プリント 実技テスト
	情景を描く音楽を楽しもう	2	バレエ音楽《火の鳥》組曲(1919年版)	○楽曲を鑑賞し、グループで意見交換し、まとめて発表する。	a,b,c	学習プリント(記述) 意見交換や発表の様子(行動観察)
7・8	日本語の歌の特徴を理解して歌おう	2	この道 他	○言葉の抑揚と旋律との関わりについて学び、歌唱表現に活かせるようにする。	a,b,c	取組観察・聴取 学習プリント(記述)
	リズム・アンサンブルを楽しもう	6	Plymouth Rock/Clap, Tap with CUPS!	○ボディ・パーカッションやコップを用いたリズム・アンサンブルをする。	a,b,c	取組観察・聴取 学習プリント(記述)
9・10	表現を工夫して合唱を楽しもう	6	言わない/早春 他	○各パートの音を覚え、他パートと一緒に歌えるようにする。 ○ハーモニーを感じ取りながら合唱する。	a,b,c	取組観察・聴取 グループ別(3～5名) 実技テスト
	世界の諸民族の音楽	6	声による表現・楽器による表現	○世界各国の音楽を声による表現と楽器による表現という観点で聴き比べる。音色・表現の特徴を感じ、美意識の多様性に触れる。	a,b,c	取組観察・聴取 学習プリント
11・12	諸外国の歌曲に親しもう	4	'O sole mio/Caro mio ben/Heidenröslein(シューベルト/ヴェルナー)/Ich liebe dich/オー・シャンゼリゼ 他	○それぞれの言語による歌曲の特徴を理解し、曲の魅力を探り、表現を深める。	a,b,c	取組観察・聴取 学習プリント 実技テスト
	篠笛に親しみ、演奏に挑戦してみよう	6	「篠笛」/たこたこあがれ/子守歌/さくら/お囃子 他	○篠笛の基本的な奏法を身に付け、音色や奏法の特徴を生かして演奏する。	a,b,c	取組観察・聴取 学習プリント
	様々な主題とその構成を聴き取ろう	2	交響曲第9番ニ短調《合唱付き》から第4楽章	○楽曲を鑑賞し、グループで意見交換し、まとめて発表する。	a,b,c	学習プリント(記述) 意見交換や発表の様子(行動観察)
1・2・3	オーケストラを知ろう	5	《青少年のための管弦楽入門》から	○オーケストラ・スコアから、楽器についての理解を深める。 ○ヴァイオリンで管弦楽曲の演奏をする。	a,b,c	取組観察・聴取 学習プリント 実技テスト 実技テスト
	オペラについて知ろう	3	「舞台芸術」/オペラ《カルメン》/ハバネラ/闘牛士の歌 他	○オペラの特徴を理解し、作品を鑑賞する。	a,b,c	取組観察・聴取 学習プリント 副教材(記述)
	郷土の民謡と芸能について知ろう	2	「郷土の民謡と芸能」	○各地に伝わる民謡や芸能に関心を持ち、その表現の特徴について理解する。	a,b,c	取組観察・聴取 学習プリント 副教材(記述)
	日本の音階で、簡単な旋律を創作してみよう	2	「楽典」 他	○日本の音階について学ぶ。 ○好きなものを選んで創作し、篠笛で吹いてみる。	a,b,c	取組観察・聴取 学習プリント 副教材(記述)
	日本の伝統音楽や芸能について知ろう	2	「舞台芸術」/日本の伝統音楽 他	○様々な日本の伝統音楽や芸能について学び、楽曲や舞台を鑑賞する。	a,b,c	取組観察・聴取 学習プリント 副教材(記述)

7 課題・提出物等

表現領域(歌唱・器楽・創作)では、さまざまな実技課題を設定します。個々のレベルに合わせて習熟できるよう時間を設定していますので、目標の達成に向けて進んで課題に取り組んでください。

鑑賞領域では、副教材や学習プリントへの記入だけではなく、グループごとに意見交換や発表をすることもあります。自分で感じたことや考えたことをもとに、他の人が感じたことや考えたことも大事にしながら課題に取り組んでください。

8 担当者からの一言

音楽には、表現(歌唱・器楽・創作)と鑑賞という2つの活動領域があります。それぞれの活動について、得意・不得意にかかわらず、一生懸命に取り組んでください。

演奏(歌唱・器楽)の授業では、なるべく幅広い音楽体験ができるようになっています。さまざまなジャンルにチャレンジして、音楽を一生楽しめるような知識と技能を身に付けましょう。

鑑賞の授業では、聴くだけではなく、音楽の構造や文化的・歴史的背景についても学びます。音楽的な見方・考え方を身に付けましょう。

(担当:清水 美奈子)